

# 教育のつどい

平成29年度の「教育のつどい」は、「ボランティアマインド」をテーマとして開催いたします。児童・生徒の意見発表、講演についても、同テーマで統一しています。

## 「支え合い、助け合いがつなぐ‘豊かな心’」 ～TOKYO2020へ向けて～

平成30年 1月20日(土) さくらホール

- 第1部 武蔵村山市児童・生徒表彰  
児童・生徒の活躍や善行に対する表彰
- 第2部 小・中学校の児童・生徒による意見発表  
各学校代表者1名 計14名による意見発表
- 第3部 講演 「知ることから始まるボランティア」  
～世界の中の日本、世界の中の私～  
講師 公益財団法人オイスカ 林 久美子 様

また、平成30年度は「障害者理解」、平成31年度は「スポーツ志向」をテーマとし、TOKYO2020大会に向けて資質を高めていく取組を継続していきます。

## オリンピック・パラリンピック教育推進委員会

オリンピック・パラリンピック教育の推進に向けて、各校から推進委員が集まり、実践交流を図っています。平成29年度は、以下の3回の日程で開催されています。

- 第1回 平成29年 6月26日(月) 概要説明・各校の実践予定交流
- 第2回 平成29年10月12日(木) 前期の各校の実践交流
- 第3回 平成30年 1月29日(月) 後期の各校の実践交流

## 成果と今後の展望

各校の特色ある取組により、オリンピック・パラリンピック教育における5つの資質について着実に育成されています。また、推進委員会を通して実践交流が促進することで、各校のアイデアがさらに喚起されています。今後は、小学校においてマスコット投票を通して大会への理解を深めていき、中学校においてはスーパーアクティブスクール(大南学園第四中学校)の実践を広げ、スポーツ志向をさらに高めていきます。

武蔵村山市教育委員会  
教育指導課  
〒208-8501  
武蔵村山市本町1-1-1  
【電話】  
042-565-1111  
(内線438)



# 平成29年度 5つの資質の育成を目指す オリンピック・パラリンピック教育



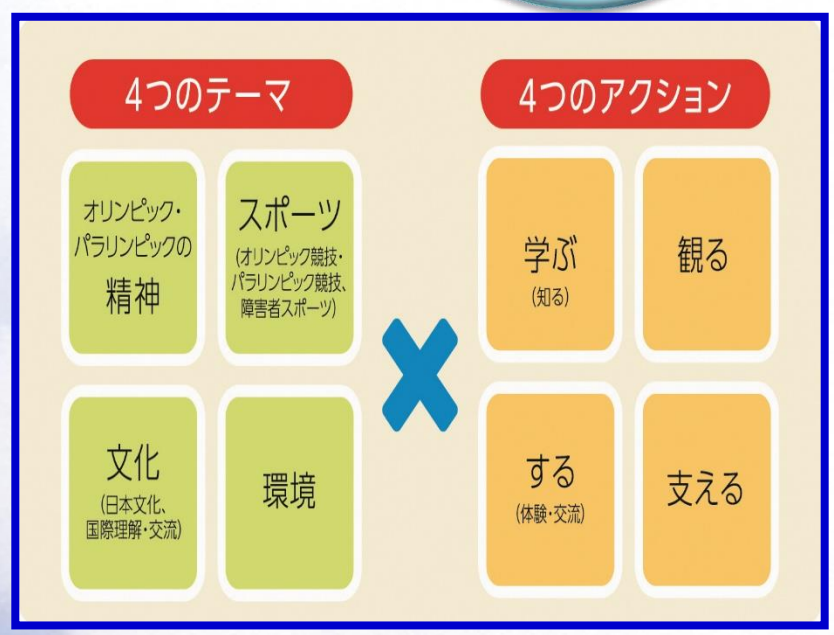
## オリンピック・パラリンピック教育とは？

子供たち一人一人の心と体に、人生の糧となるかけがえのないレガシーを形成するために、以下の基本的視点をもって取り組みます。

【取組に当たっての基本的視点】

- (1) 全ての子供が大会に関わる
- (2) 座学だけでなく、体験や活動を通じて学ぶことを重視する
- (3) 大会後も見据え、計画的・継続的にオリンピック・パラリンピック教育に取り組む  
「東京のオリンピック・パラリンピック教育を考える有識者会議」最終提言より

## 基本的枠組 「4×4の取組」



オリンピック・パラリンピック教育には、左記の4つのテーマがあります。それらのテーマに、「学ぶ」「観る」「する」「支える」という4つのアクションでアプローチをしていくことで、多彩な教育活動を展開していきます。

東京都のオリンピック・パラリンピック教育推進校に、平成26年度から第三小学校、村山学園、第一中学校、平成27年度から第七小学校、第九小学校、第十小学校、第四中学校、第五中学校、さらに平成28年度には市内全学校が指定を受けました。平成32(2020)年の東京大会に向けて、**基本的枠組「4×4の取組」**を基に、各校で特色ある教育活動が展開されています。

平成30年1月  
武蔵村山市教育委員会

# 重点的に育成する5つの資質

多彩な「4×4の取組」を展開することで、子供たちに多くの資質・能力を身に付けさせることができます。その中で、特に次の「5つの資質」の育成を目指しています。各資質ごとに、本市の取組を紹介します。

「アワード校」とは？  
5つの資質を育成するための取組を、より充実させるために顕彰を受けた学校

## (1) ボランティアマインド

### アワード校

#### 【小中一貫校村山学園】

平成28年11月に開催された「小中一貫教育全国サミットin武蔵村山」では、全国からお越しのお客様をお迎えするため、9年生が「おもてなし」を学び、考え、当日の実践を行いました。参加された多くのお客様から、「9年生のおもてなしが嬉しかった。」「9年生の対応が素晴らしかった。」と称賛されました。

また、市の「ひまわりガーデン」の活動やクリーン作戦等地域のボランティア活動に積極的に参加し、児童・生徒のボランティアマインドを育成しています。



### アワード校

#### 【大南学園第七小学校】

平成29年5月に、元キャビンアテンダントの方をお招きし、接客の際の「おもてなし」について学びました。東京大会にお越しの世界のお客様に対する心配りや相手の気持ちを考えて行動する大切さに気付くことができました。



#### 【第五中学校】

地域清掃への参加者をボランティアで募り、個人または部活動単位で参加しています。地域に貢献しようとする意欲が高まっています。



## (2) 障害者理解

#### 【第二小学校】

障害者スポーツの一つである「ゴールボール」について学んでいます。主に5・6年生で実践しており、競技を体験することで、パラスポーツへの理解を深めています。



#### 【雷塚小学校】

パラリンピアン（ゴールボール）の方をお招きする前に、障害者スポーツの事前学習を全学級で行いました。

学習を行ったことで、パラリンピックに対する関心が、とても高まりました。



## (3) スポーツ志向

#### 【第九小学校】

毎年行われている体力調査の結果を詳細に分析して、改善に向けた日常的な取組を行っています。特に、持久力向上をねらい、12月のマラソン大会に向けた取組を、全校体制で実施しています。



#### 【第一中学校】

学習読本や新聞などを参考に、オリンピック・パラリンピックについて調べ、壁新聞にまとめています。競技等に対する理解を深めることができています。



#### 【第三中学校】

新聞記事の中からオリンピック・パラリンピックに関するものを見つけ、壁新聞にまとめて発表しています。また、年3回「ミニオリンピック」と称して、学級対抗の大会を開いています。



#### 【大南学園第四中学校】

平成27年度から体育の授業に、ハンドボールを取り入れ、課題である投げる力の向上を図っています。平成29年6月には、ハンドボールのオリンピックを迎え、実技指導をしていただきました。



## (4) 日本人としての自覚と誇り

#### 【第八小学校】

徳育科で「礼儀作法読本」を活用した学習を行っています。その中で、「お茶の心」や「江戸しぐさ」といった日本古来の文化から、日本の素晴らしさを再確認する学習を行っています。



#### 【第十小学校】

体育や休み時間を活用して、日本の国技である「相撲」に取り組んでいます。体力向上だけでなく、「礼に始まり、礼に終わる」という、礼儀作法を学んでいます。



## (5) 豊かな国際感覚

#### 【第一小学校】

平成29年5月に、5・6年生を対象に「ヤング・アメリカンズ」を開催しました。ダンスや歌などを通じたコミュニケーションにより、言語だけではない交流を体感できました。



#### 【第三小学校】

リオ大会閉会式の人文字参加や留学生による出前授業など、世界の国々と積極的に関わってきました。平成29年度は、メキシコの学校と交流し、学校紹介などを通して、世界の文化を体感しています。

